

章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち
大項目	02	個性ある地域文化づくり
施策	02	文化資源の保護と文化環境づくりの推進

目的

歴史、民俗を始めとする各種の文化資源を有機的にネットワーク化し、その保全と活用を図るとともに、文化を継承し創造する環境づくりを進め、地域文化の向上を図ります。

対象・手段

対象:文化資源

手段: 博物館については博物館友の会の推進及びその充実を図ります。

既設ミニ博物館7館の一層の活性化とそのための整備を図るとともに、新たな開設館を整備します。

施策の方向

- 歴史博物館の郷土資料の整備や展示の充実及び講座等への区民参加を進めて、郷土の歴史と文化に対する区民の理解を深め、地域文化の向上を図ります。
- 地域の文化資源の活用とともに景観の向上等、美しいまちづくりを推進し、文化環境の整備を図ります。

基本計画(平成10～19年度)の目標達成状況

指標名	A 基準値	B 目標値	C 達成値	D 達成状況
登録文化財(件)	(平成10年度) 27件	(平成19年度) -	(平成19年度) 39件	平成10年から12件増えました。

指標名の定義:新宿区登録文化財として指定された数

成果指標

指標名		定義		目標水準		
一般友の会会員登録数		一般友の会登録状況		(平成19年度に 160人) の水準達成		
ミニ博物館開館状況		ミニ博物館開館達成率		(平成18年度に 8館開館運営) の水準達成		
				() 年度に () の水準達成		
施策の達成状況						
		単 位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
施策成果指標	目標値1	人	160.00	160.00	160.00	
	実績1	人	206.00	241.00	233.00	
	目標達成率1 = /	%	128.75	150.63	145.63	
	目標値2	館	8.00	8.00	8.00	
	実績2	館	7.00	7.00	7.00	
	目標達成率2 = /	%	87.50	87.50	87.50	
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

主な取組み

歴史博物館では新宿の歴史にふれる取組みとして、従来、年1回であった特別展を年2回開催することとしました。また、常設展示室内に年4回展示替えを行なう特設コーナーを設置、また、考古コーナーを一部リニューアルする等、来館者満足度の向上に努め、19年度末には入館者数47,247人となりました。

林芙美子記念館では、従来、非公開だった庭園内石蔵をミニギャラリーとして公開しました。また、開館後、十分手入れが行き届かず、荒れた印象になっていた庭園を土壌改良・草花の補植を中心としたリニューアルを行ないました。

博物館友の会(一般友の会・こども友の会)の活動の充実を図り、こども友の会は生涯学習財団事業課のレガス子どもクラブとも連携して実施し、歴史や文化に対する子どもの関心を高めてきています。また、博物館ボランティアの登録(112名)・活用(延1,159件)を進め、参加・協働型の区民に親しまれる博物館運営を行ってきています。

ミニ博物館は、ミニ博物館の新たな魅力を引き出す展示替え等の経費の一部を補助するしくみを創設するとともに、既存館の魅力を広く知らせるため、伝統工芸講座を歴史博物館で実施しました。

また、予定した新館の設置はできませんでしたが、文化財の特別公開の形で区民への公開を行いました。

課題

歴史博物館友の会の取組みを進めていく中では、平成19年度末現在、一般博物館友の会233人、博物館ボランティアとして112人の方が登録をされています。また、ボランティアの活動件数は延1,159件と大幅に増大しました。今後は本事業を歴史博物館の経常的な事業とする中で、ボランティアの活用領域のさらなる拡大と、自主グループの自立に向けた活動支援を継続していく必要があります。

ミニ博物館は、区内の文化資源を再評価し、これをもとに区の文化環境を整備するための貴重な施設です。区民に郷土の文化とその魅力を伝える意義もあり、今後も着実に継続・発展させる必要があります。

しかし、ミニ博物館は、あくまでも設置事業者が主体となって運営している施設です。団体見学の増大により、仕事場等として、支障をきたすこともあるため、見学や観光施策として取り組む際は、十分な配慮が必要と考えます。

評価

総合評価	
総合評価は、施策の目的や方向に照らして、概ね「計画どおり」達成することができたと捉えて、「B」評価としました。各評価の視点に基づく評価については以下のとおりです。 サービスの負担と担い手 新宿歴史博物館は郷土の歴史資料の収集保存、調査研究、公開等を行うことを目的として、新宿区の税負担により、設置・運営している施設です。また、多くの区民に区の歴史や文化資源への関心を高めてもらう必要があることから、博物館友の会やボランティアとして事業運営に参加してもらっています。そして、ミニ博物館については、区民等の所有する文化資源を広く区民に公開してもらうため、博物館の設置運営等に係る費用の一部を税負担により、助成しています。このようなサービスの負担と担い手のあり方については妥当であるものと評価しています。 適切な目標設定 多くの区民に区の歴史や文化資源への関心を高めてもらう視点からは、成果指標に掲げる「一般友の会会員登録数」や「ミニ博物館会館状況」は妥当な目標設定であると考えます。しかし、「歴史・民俗をはじめとする各種の文化資源を有機的にネットワーク化し、その保全と活用を図る」という施策の目的からは、こうした目標設定に加えて、区内の文化資源を捉え、ネットワーク化を図る視点からの目標設定を行う等、改善が必要であると考えます。 効果的・効率的な視点 博物館の事業運営にボランティアを活用するほか、こども友の会については生涯学習財団事業課のレガス子どもクラブとも連携して実施する等、効果的効率的に博物館の運営や事業の相乗効果を高める取り組みを進めてきています。また、ミニ博物館についても民間事業者が自ら運営する各施設に対して維持管理費等の一部を補助する仕組みの中で、効果的・効率的に運営ができているものと評価しています。 目的の達成度 「これまでの取り組み」に記載のとおり、参加協働型の博物館運営の環境整備は着実に進んできていると評価しています。また、ミニ博物館については、予定した新館の設置はできませんでしたが、文化財の特別公開の形で区民への公開を行うほか、展示替え等の経費の一部を補助するしくみを新たに創設することにより、ミニ博物館の新たな魅力を引き出すことができました。これらの点からは、概ね目的は達成できたものと評価しています。	B

今後の取組み・改革の方針

「歴史博物館友の会の推進」として実施している博物館友の会やボランティアの活動は、今後も、引き続き、ボランティアの活動領域を博物館事業全体に広げるとともに、友の会事業を博物館の本来業務として位置づけ、自主グループ活動を支援することで、参加・協働型博物館運営を進めていきます。

また、「ミニ博物館の充実及び推進」については、継続的な事業として遂行していくため、基本施策「 - 1 - 文化・歴史の掘り起こし、継承・発展・発信」に引き継いで取り組んでいくとともに、区内の文化資源の有機的なネットワークづくりを促進していきます。

施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
博物館友の会の推進	B	128		
ミニ博物館の充実及び推進	B	130		